

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月1日

## 【評価実施概要】

事業所番号	270201072		
法人名	医療法人恩幸会		
事業所名	グループホームやすらぎ		
所在地 (電話番号)	〒036-8124 青森県弘前市石川字大仏下53 (電話) 0172-49-7035		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 3月 4日	評価確定日	平成 21年 4月 1日

## 【情報提供票より】(平成21年2月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	12人, 非常勤 5人, 常勤換算 13.57人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	7,500 ~ 冬期9,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	17 名	男性	0 名	女性	17 名
要介護1	0 名	要介護2	8 名		
要介護3	5 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.8 歳	最低	77 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	工藤医院、工藤歯科
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>石川駅近くに位置しており、敷地内庭にはブドウや畑を作っている。玄関に「自分らしく、和らかに、いつも笑顔で」という理念を掲示している。内容の解説には、地域で生活する重要性や地域密着型サービスとしての役割も取り入れられ、職員1人ひとりが理念に基づき意欲的に支援している。同法人の医院と協力体制がとられており、法人内の他事業所と連携を図りながら入居者が安全で安心した生活をおくることができるよう支援している。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回課題となった空調管理については、温度計、湿度計を設置し、共用空間では加湿器を使用して、快適な環境作りがなされている。又、入居者の記録の様式を一日を通して記録できるよう改善している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全体で自己評価を実施している。今回の自己評価では、日々のケアについて振り返る機会となり、入居者の高齢化による意欲低下への働きかけについて気付いた点があり、取り組んでいく予定である。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>二ヶ月に1回、運営推進会議を実施し、ホーム内の行事や課題について報告や意見交換がされているが、会議欠席者に対して内容の伝達が行われていない。欠席者に対して資料を配布し報告する事で、運営推進会議が単発的な内容にならないよう取り組む事が望まれる。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>玄関に意見交換のノートを設置しているが今の所、書き込みがない。面会時や毎月の入居費支払い時に、状態報告し、家族の意見や要望の聞き取りに努めている。要望を受け取り組んだ内容について他の家族にも理解を得られるように文章で掲示するなど、公表の取り組みにも期待したい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>石川町内会に加入しており、近所の方が古新聞を持って訪問されたり、ブドウの樹木の手入れ等のアドバイスをもらっている。慰問や小、中学生の介護体験の受け入れや納涼祭の開催時はチラシを配布し地域住民に参加してもらい交流されている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自分らしく、和やかに、いつも笑顔で」という理念を掲げ内容の解説には地域で生活することの重要性や地域密着型サービスとしての役割も取り入れている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員間で周知されており、ホーム内の課題や入居者のケア・支援に取り入れられている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	石川町内会に加入しており、近所の方が古新聞を持って訪問されたり、ブドウの樹木の手入れ等のアドバイスを貰っている。慰問や小、中学生の介護体験の受け入れや納涼祭の開催時はチラシを配布し地域住民に参加してもらい交流がある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全体で自己評価を実施している。今回の自己評価では、入居者の高齢化による意欲低下への働きかけについて気付いた点があり、取り組みしていく予定である。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月に1回、運営推進会議を実施し、ホーム内の行事や課題について報告や意見交換がされている。会議欠席者に対して内容の伝達がなされていない。</p>		<p>運営推進会議が単発的な内容にならないよう、欠席者に対して資料を配布、報告し、後日、意見をうかがうなどして地域、行政、家族、事業者が一体化となってサービスの向上に取り組む事が望まれる。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域ケア会議に出席し、市担当者から地域のニーズ把握と他事業所と情報交換し柔軟に対応している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>今の所、利用されている入居者はいない。必要時には行政書士の方に相談して支援できる体制はあるが職員に周知されていない。</p>		<p>パンフレットや資料を整備し勉強会等で職員も理解出来るよう取り組むことが望まれる。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部研修に参加したりインターネットで資料を集めマニュアルを作成したりしている。言葉遣いについては会議で検討されており職員の意識づけにも努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書について十分な説明がされており重度化した場合についても説明し同意を得て契約に至っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の入居費支払いは直接ホームにて行うことと取決めされており、その際に必ず状態報告を行っている。急用時は随時電話連絡をいれている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に家族からの意見や要望の聞き取りに努め、運営に反映させている。取り組んだ内容を家族等に公表する機会がない。</p>		<p>要望を受け取り組んだ内容について他の家族にも理解を得られるように文章で掲示するなど、信頼関係の構築に活用されてはどうか。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動がなく専従である。離職や採用時は引継ぎを充分に行い、利用者にダメージがないように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のレベルに合わせた内容の外部研修に参加している。内部研修では、料理の講習を行うなど利用者の支援に活かせる内容で実施している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同地区のグループホームと情報交換を行い、サービス提供に活用されている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に見学してもらったり、調査に出向いたりして利用者の状態を把握した上で利用していただいている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	農作業や食事の準備を一緒に行い、互いに支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	散歩や買い物など希望に添うように対応している。何かある時でも自発的な参加にまかせ強制はしていない。自室に1人で過ごされる方へは訪室し声掛け等に対応している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	主に介護計画作成者が他職員や家族から情報収集し作成している。又、介護計画書を家族に確認していただいてサインを貰っている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	三ヶ月に1回見直しし、カンファレンスは毎月当日の勤務者で実施している。状態変更時には随時見直ししている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	自宅への外出外泊は家族の協力を得て実施している。医療連携体制がとられており、24時間の訪問看護を受けられるようにしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人の医療機関と協力体制がとられており、夜間の往診も可能なことから、利用者、家族等に説明し、納得を得られ、入居時に医療機関を替えられる入居者が殆どである。内科以外の通院については在宅時に通院していた医療機関を継続している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療機関体制があり重度化にも対応できるようにしている。又、状態低下時は随時、家族、医師と相談しながらサービスを提供している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室の入り口にはのれんが掛けられており、扉を開けても直接室内が見えないよう配慮されている。言葉掛けについては会議で検討されており、入居者の誇りを傷つけないように全職員が配慮している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	新聞を見たり作業をしたり自室で休まれたりするなど、一人ひとり自由に過ごされていた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材の買い出しや下準備、後片付けなど入居者の能力を活かしながら職員と一緒にしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週二回入浴日を設定しているが希望に合わせてシャワーや足浴を実施している。入浴を拒否する方へも上手く声掛けし入浴を促している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>和裁が好きな方は作品を居室に飾っている。ハーモニカが好きな方は他入居者に聞かせるなど入居者1人ひとりに合わせて楽しみごとを支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>年間の外出計画はあるが、計画以外にも散歩や買い物など日々、外出の機会を設けて支援している。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>マニュアルを作成しミーティングの時に確認するなど、職員の理解を深めケアに活用している。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関は扉が開くとチャイムがなるようにしており、その音で確認しながら、入居者を見守りし対応している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時のマニュアルを作成し、年二回の日中や夜間を想定した訓練を実施している。職員は救命救急講習や甲種防火管理者研修を受けている他、災害時にホームを地域に開放できるよう非常食を準備している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は入居者の嗜好を考慮し作成している。法人の管理栄養士にアドバイスをもらい栄養面の管理をしている。食事摂取量をチェックし体重測定と合わせて入居者の健康管理に努めている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを作成し、日頃から手洗いや消毒は十分に注意している。共有空間には加湿器が設置されている。病院から流行している感染症についての情報を得て随時対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間には季節の飾りつけがされており、自然の採光を十分に取り入れ過ごしやすい。テーブルや椅子の他に畳のこあがりのスペースもあり、ゆったり過ごせる雰囲気がある。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはベットが備えつけられているが、畳の部屋もあり布団でも対応できるようにしてある。冷蔵庫やテレビが持ち込みされており一人ひとり好きなように飾りつけがされてある。</p>		

 は、重点項目。